

ペットブーム

最近は、朝の散歩時に、よくペットを連れて人たちに行き違う。
そのほとんどは「犬」で(当然)、小型犬から大型犬までいろいろ。
高齢者というか、ご老人はほとんどが「柴犬」のような一般タイプ。
比較的若い女性に見られるのは、プルドル?のような小型犬。
毛をトリミングして、まるで「ぬいぐるみ」のようだ。
それも、二匹とか三匹、多い時には四匹もつれている。
あれで、「犬同士が良くケンカしないものだ」と、変に感心する。
あとは、大型犬やシェパードのような狩猟犬を連れてくる人。
これは、ほとんどが若いか壮年の「男性」。
それだけ犬に懸ける「思い入れ」があるのだろう。
皆さんも社会道徳をわきまえて居るのか、ペットの糞はきちんと持ち帰っている。

猫については、そのほとんどが「家庭内」で飼われているために、訪問しない限りは見ることはない。
こちらもかなりの数になるのではないかと思われる。
愛好家には、「猫派」と「犬派」がいるようだ。もちろん両方という方も当然にいる。
ロシアのプロスケーターのザギトワだったか、冬季オリンピックで優勝して、日本から「秋田犬」を進呈されたようだが、すでに猫を飼っているらしい。



ロイター記事から

ちなみに、私自身は「猫派」で、動物の方もその感性が人間以上だから、すぐに「この人間は*派だ」と分かるようだ。だから、猫はすぐに近かづいてくるが、犬は無視することもしばしば。

最近、ニュースをにぎわしている「紀州のドンファン」こと、野崎氏は「犬派」で、彼の全財産の「相続犬」になっていたらしい。

犬にしてみれば、十分な環境?で生きられるならその他はどうでもよいことなのだが、人間の「エゴ」で命を落とすことになってしまったようだ。

それも何ともかわいそう。